

2017 年度事業計画

◎基本方針

Continuation *2017*

国民の健康寿命の延伸に歯科医療が注目されている。それを支える歯科技工士のナショナルセンターの充実と活動は、日技新発展『7』プランを拠り所に各事業部門が連携し、スケジュール感を持って取り組んでいるところであり、今年度は、工程の折返し年になることから着実な実現に向けて「継続」をキーワードに臨む。

また、歯科技工士の環境整備は社会状況の変化と無縁ではないことから、技術の進歩、超高齢社会での役割、歯科技工所の在り方等も視野に関係団体、行政と連携し、『歯科技工士の明るい未来』を求めて活動する。

1. “日技新発展『7』プラン”の推進

- 計画工程の折返し年になることから、『7』プラン推進委員会を中心に進捗状況を検証し、達成に向けて取り組む。
- 引き続き、『7』プラン冊子等を活用し、啓発活動を積極的に行う。
- 工程表に沿って、実現を加速させるために設置した専門委員会等、『7』プランに関わるそれぞれの部門が連携して効率的に取り組む。
- 計画の進行状況等は、これまでどおり速やかにホームページ等で公開する。

2. 公益社団法人としての円滑な会務運営

- 歯科技工士のナショナルセンターとして、歯科技工士の社会貢献を広く社会にアピールし、職業イメージの転換を目指す。
- 公益目的事業と各事業部門の事業内容、予算等との整合性を図り、堅実に執行する。
- 地域組織と連携し、会員が組織活動に一体感を持てる会務運営に努める。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた取組み

- 歯科技工士を取り巻く厳しい現状を踏まえ、確かな改善を図るために「戦略」を持って関係団体、行政と協議する。
- 当面の課題である「製作技工に要する費用の考え方」、「歯科技工士学校養成所の修業年限の延長」について着実な前進を図る。
- 環境整備の原動力として不可欠な組織拡充について、様々な活動と協調して危機感を持って臨む。

なお、急速に変化する社会状況の中で、ナショナルセンターの活動は常に外部から注視されている。その会務執行は、会員の信頼と団結が原動力となることから、改めて、基礎となる適切な情報共有に努める。